

伊陸夢プランだより

第4号

平成29年7月13日発行
伊陸地区コミュニティ協議会

「伊陸の夢プラン」策定に向けて

夢プラン策定委員会 会長 松岡征彦

盛夏の候、皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

本年3月1日に伊陸夢プラン策定委員長に就任して以来、山口県からご紹介いただきました中山間地域づくりコーディネーター安藤周治先生のご指導を受けながら、伊陸夢プラン策定のためのアンケート調査結果をもとに、策定委員とともに伊陸夢プラン策定に向けて研究・協議を行っております。この5月29日及び6月13日に行いました策定員会の協議内容につきまして、ご紹介申し上げます。

(1班)

○道路交通・施設 「伊陸の交通事情について」

1 現状

- ・伊陸地区全体で70歳以上が30%以上
- ・交通手段はバスしかないが本数が少ない。また、県道筋から入った家の人は利用できない。ので、タクシーを利用する人が多く、病院代より交通費の方が高つく。

2 対応策

- ・スクールバス、乗合タクシー、バス増便、市民生活バスの運行、デマンド交通等

(2班)

○生活 「生活の不安」

- ・人口減少、医療・福祉、道路・交通網、情報通信、環境、買い物等
- ・原因は人とのつながり、やり取りがなくなってきたことが考えられる。
- ・高速バスでの広島へのアクセスの良さや、豊かな自然等、良い面もある。

(3班)

○地域 「地域の課題」

①農業 ②医療 ③生活 ④交通 ⑤少子高齢化 ⑥環境 ⑦防災

少子高齢化、生活、農業はつながっており、一体となって取り組まなければいけないと思う。

(4班)

○産業

- ①農業法人の一体化（交付金の有効利用）
- ②イベント等による地域の活性化（芝桜、南山神社で子ども相撲大会、蛍鑑賞、年間行事表の配布等）
- ③伊陸の特産品の販売（昔の農協のような大きな販売所を作る）
- ④空き家の有効利用（行政の協力を得て、住みやすい場所に変えていく）
- ⑤旧伊陸中の有効活用（子供から高齢者まで楽しめるような場所）

(5班)

○人口対策 「スマイルいかち」～いかちのよさの発見・発信～

- ①伊陸の住みやすさの発信（交通の利便性、自然等）
- ②空き家対策（空き家のリストアップ等）
- ③子育て世代への対策（小学校の存続、子どもが進学する上での不安の解消等）
- ④婚活対策（婚活パーティーの開催等）

部会討議まとめ（6月13日）

（道路交通・施設）

- 道路（大の口のトンネル建設、緊急車両が通れる道路整備、歩道整備等）
- 交通（県道筋から入った家の人の交通手段の確保、デマンド交通導入、公共交通空白地有償運送（白タク）、スクールバスの利用）
- 施設（旧伊陸中の利用方法を考える⇒まずは建物が使えるかどうか市に調べてもらう）

（生活）

◎生きる・活躍する場の提供

- 1 防災・安全（避難訓練、AEDの整備、緊急連絡網を自治会単位で作成）
- 2 高齢者支援（高齢者への声掛け、買い物難民の救済、近所との付き合い）
- 2 健康（医療の充実、病院に行くための交通手段の確保）
- 3 若者支援（小学校の存続、働く場の確保）
- 4 各種インフラ（道路、交通、インターネット、上水道）

（地域）

◎教育と文化「複合施設の建設と祭りを盛り上げる」

- 南山神社の神楽と糸あやつり人形の継承
 - ⇒地域の人々が参加できる同好会を立ち上げる。
 - ⇒小学校・公民館を合わせた複合施設を作り、定期的に講演を行う。
- 文化財（文化財マップの作成、展示場の作成、勉強会）
- 大迫の荒神様の子供相撲の存続
- 伊陸納涼の夕べ（花火を打ち上げるための募金）

（産業）

「伊陸くりや」

- ◎今まで伊陸にある朝市等を全部1か所にして、里の厨のような施設（直売所、レストラン等）の建設
- 後継者対策 ○法人の一本化 ○季節ごとのイベントの開催
- 子供が楽しめる自然体験ができる施設の建設 ○皆が集まれるカフェ・居酒屋の開設
- 介護の里のような施設の建設。周りに花を植え、皆の憩いの場にする。

（人口対策）

「旧伊陸中学校を発信基地に！！」

- ◎伊陸の歴史を勉強し直し、知らないこと、新しいことを発見する。
- 空き家対策（空き家の情報を提供、現地視察）
- 情報発信（伊陸を離れた人への情報発信）
- ホームページ・FM（インターネットを通じて様々な情報を発信）
- 中学校改修（農業体験の場、宿泊所、人口問題研究所の開設等）
- 小学校の存続（地域でのボランティア活動、図書館や児童館等の交流の施設の開設）
- 縁結び（市内での婚活イベント）